

ノリ養殖環境速報 KH-29-1 (播磨灘) 平成 29 年 11 月 2 日 発行

※平成 29 年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています。

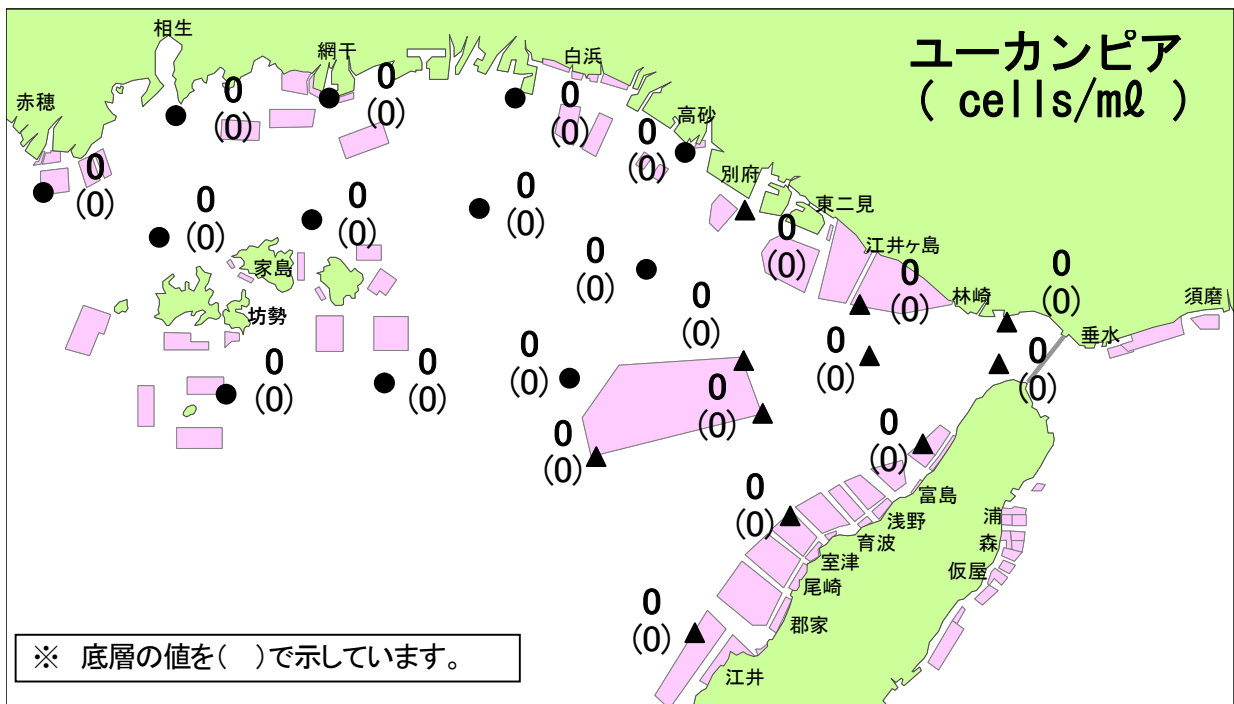
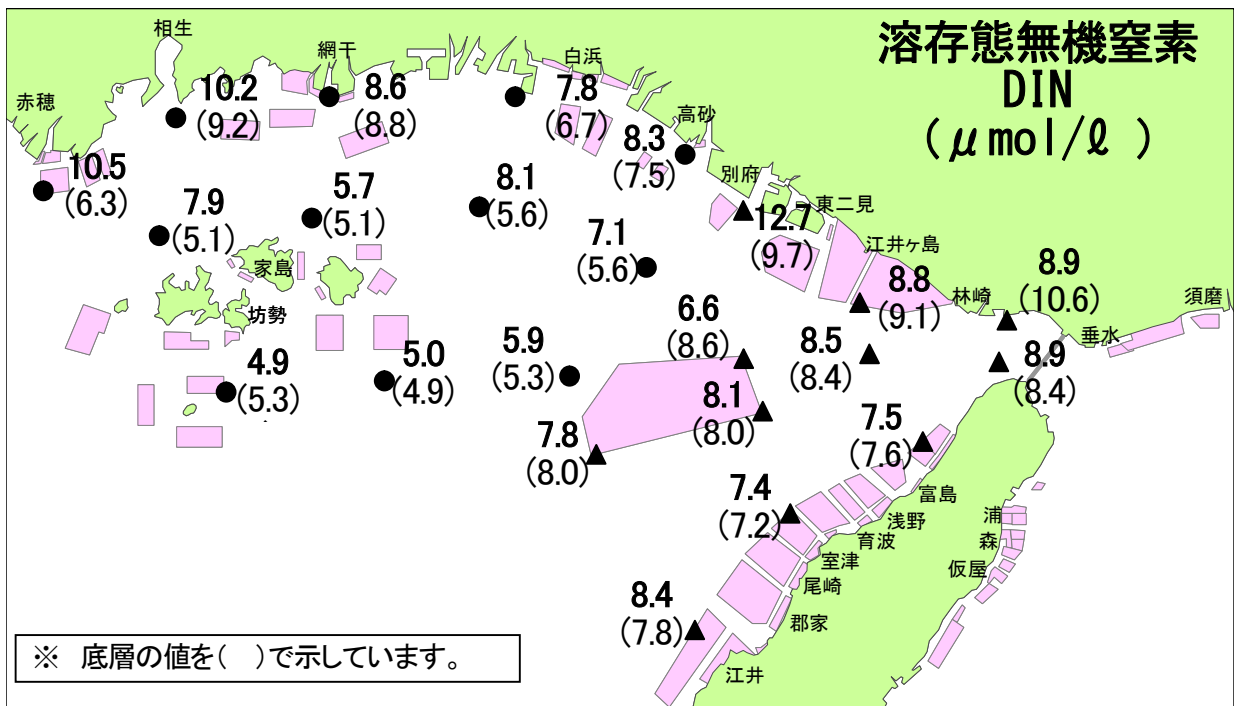
調査年月日：10 月 31 日、11 月 1 日

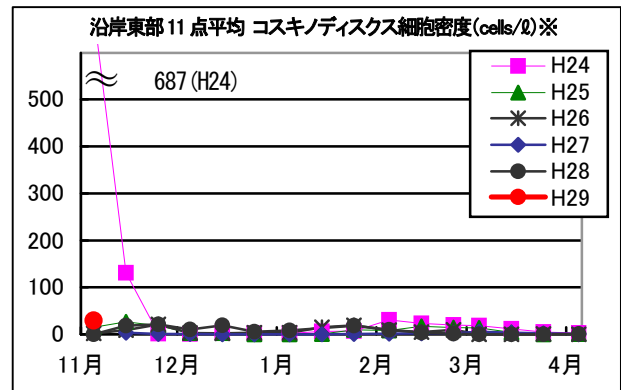
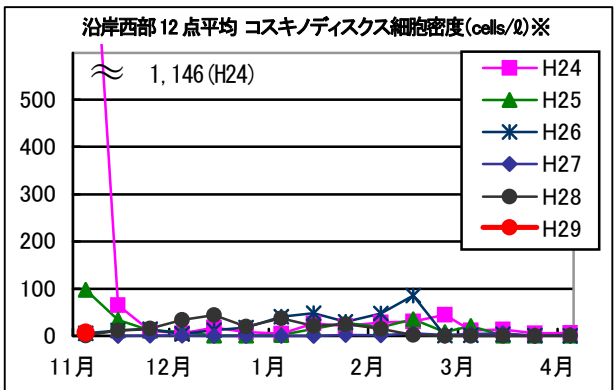
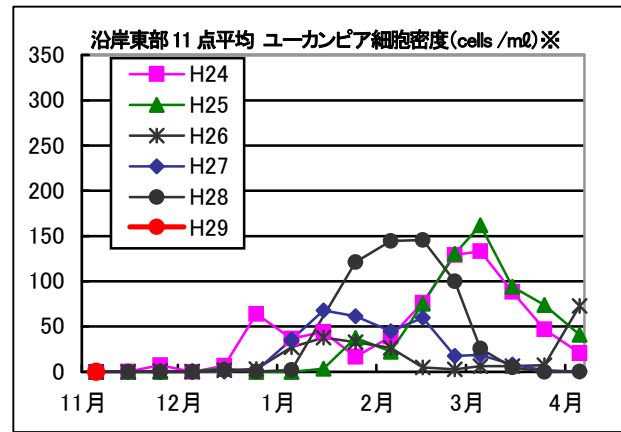
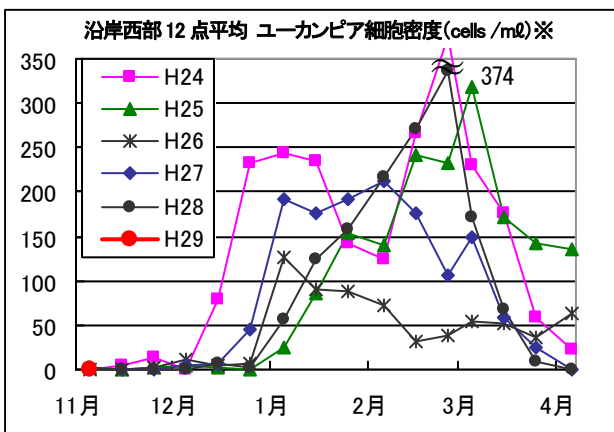
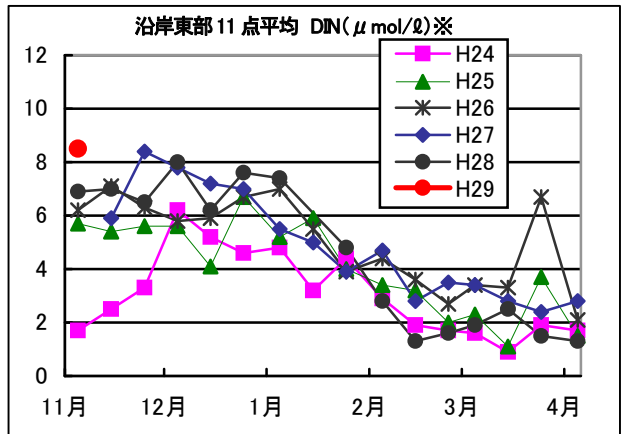
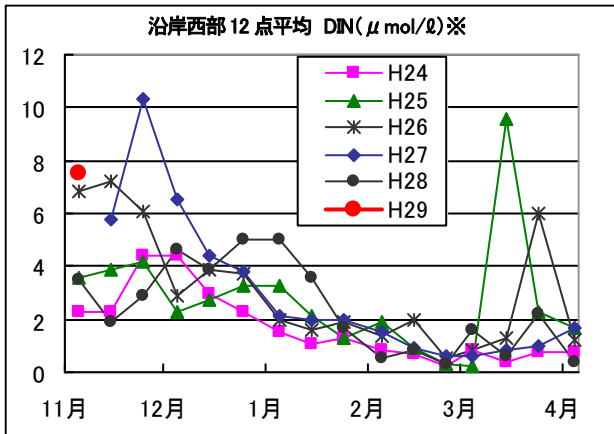
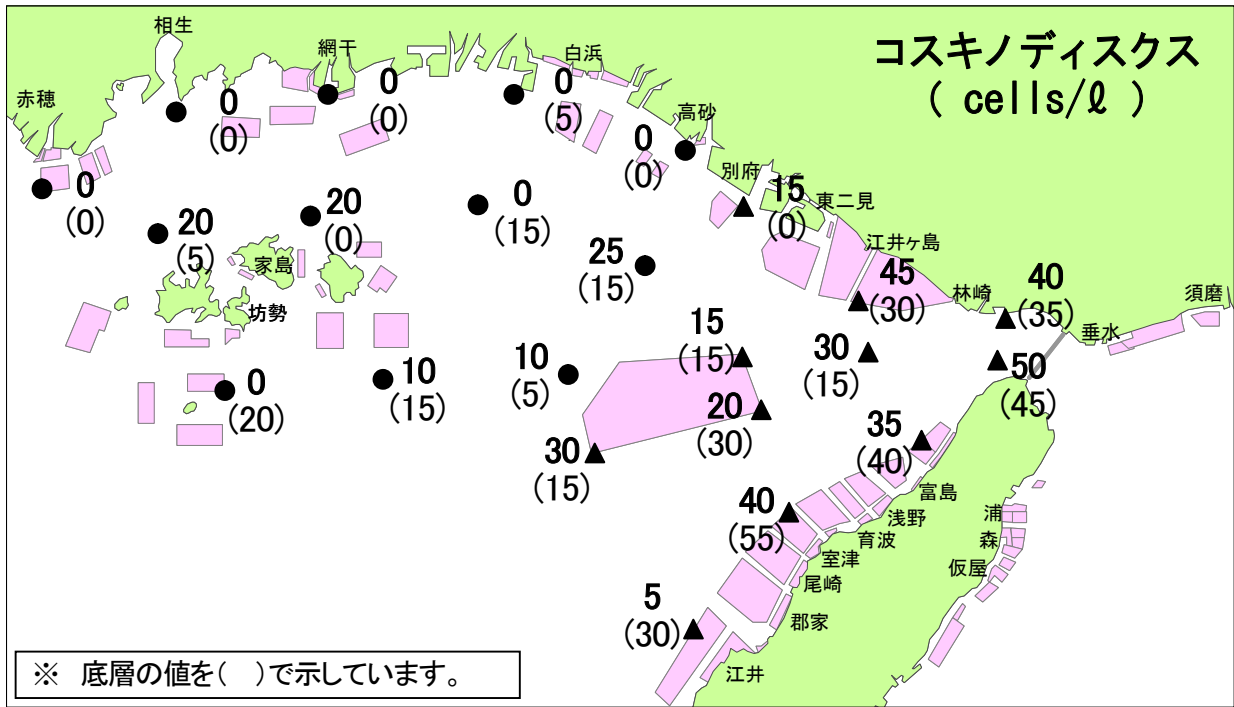
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘(調査海域)の DIN 濃度は、沖合海域で概ね 5~8 $\mu\text{mol/L}$ 、沿岸域では 7~10 $\mu\text{mol/L}$ 程度となっています。

大型珪藻のユーカンピアは確認されませんでした。コスキノディスクスワイレシーは明石海峡付近や西浦を中心に確認されています。

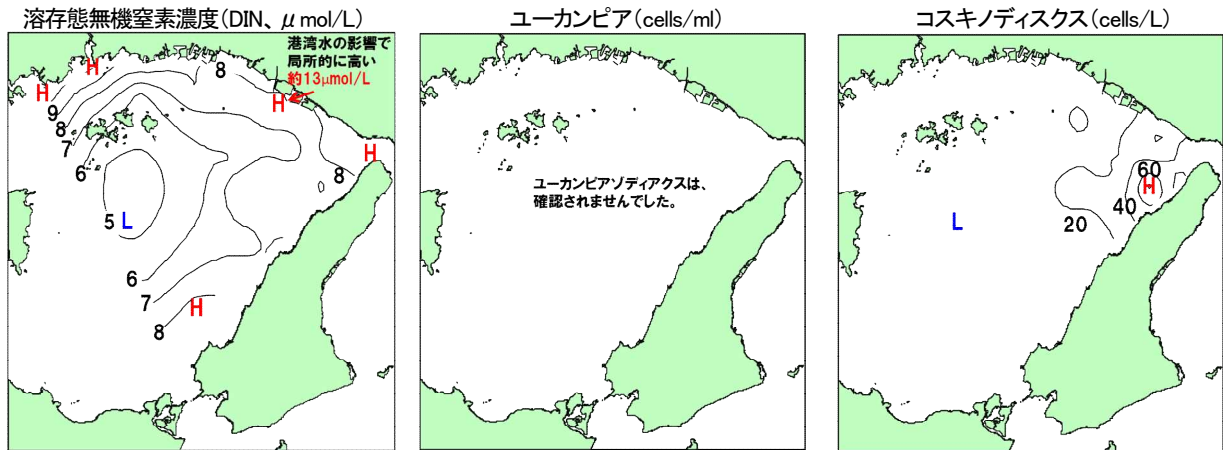
水温は、白浜以西では 19.7~21.9 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では 20.0~20.9 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で 20.8~21.7 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では 20.8~21.0 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では 20.2~20.9 $^{\circ}\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成29年10月31日～11月1日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は鉛直混合や降雨の影響もあり、概ね5~10 $\mu\text{mol/L}$ でした。先月まで多く発生していた大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは減少しています。ユーカンピアは確認されませんでした。その他の植物プランクトンは少ない状況です。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並か平年より少ないとされており、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持~やや増加傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁 11月2日 10時34分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(11/3~11/9)の近畿地方は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、明後日(4日)は北部で雨が降るでしょう。

最高気温、平年並か平年より高いですが、期間の前半は平年より低い日がある見込みです。最低気温は、期間の中頃にかけては平年並か平年より低く、期間の終わりは平年より高いでしょう。

降水量は、平年並か平年より少ない見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査(10/31)では、日生沿岸でDIN(表層)が8.4 μM でした。大型珪藻のコスキノディスクスは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成30年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成29年11月15日頃に発行予定です。

*この情報は、ホームページでも見いただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>